



## 編集後記

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学看護学部 公開日: 2010-05-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 荒川, 唱子, 中山, 仁, 加藤, 清司, 鈴木, 千衣, 伊藤, 由里子, 高瀬, 佳苗, 清水, 昌美 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000504">https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000504</a>

## 編 集 後 記

4月に委員会メンバーは5名から7名体制になり（2名は存続）、紀要委員会活動をスタートさせました。ここに福島県立医科大学看護学部紀要11号をお届けできることを大変嬉しく思います。投稿者はもちろんのこと査読をして下さった先生方に厚くお礼を申し上げます。今回、掲載された論文は、総説1件、資料5件、学術活動として公開講座と海外研修報告の2件でした。いずれも興味深い内容ですので目を通して頂きたいと思います。

看護学部創刊号から発刊された紀要も11冊目になりました。きりがよいところで紀要1～10号までの論文を見てみたいと思います。各年度ごとに3件から8件の論文が掲載されており、総説2件、論説16件、原著3件、資料27件、3号までしかなかった研究報告／報告は9件、合計すると57件でした。これら以外に「学術活動」として創刊号では6つの研究会活動、2号では9つの研究会活動、3号からは研究会活動報告はなく主に公開講座と海外研修報告が掲載されています。あとは業績一覧、投稿規程、編集後記でした。10年間のうちに紀要に掲載する原稿の種類、文献の記載方法など数回に渡って投稿規程の見直しが行なわれ、査読方法に関しても検討を重ねてきた経緯があります。「10年ひと昔」といわれますが、10冊を眺めてみるとそれなりの歴史を刻んだ重みがあります。

これまで学内の研究者が研究活動の成果を発表する場として紀要が存続してきました。そのような中、平成18年度から本学は法人に移行しました。この法人化により、大学は一般企業のように経済性や効率性が求められるようになっていきます。紀要も新たな発想のもとに進んでいかなければなりません。そこで、今後も従来の編集方針で進めていくのかどうかを委員会で検討し始めました。看護学部教員の研究教育活動が見える紀要をめざしてどのような方向性が見い出せるのか。紀要委員はもとより看護学部教員の力を結集して進めていきたいと考えております。紀要委員一同、何とぞ宜しくお願いいたします。（荒川唱子）

<b>紀要委員長</b>	荒川 唱子
<b>紀 要 委 員</b>	中山 仁
	加藤 清司
	鈴木 千衣
	伊藤由里子
	高瀬 佳苗
	清水 昌美

平成21年3月発行

福島県立医科大学 看護学部紀要 第11号

発行者 福島県立医科大学看護学部  
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地  
電話 024-547-1111